

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-43)、
廃棄物管理施設(19)、MOX燃料加工施設(2-13))」

2. 日時：令和5年3月17日(金) 10時00分～10時30分
14時00分～14時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 専務執行役員 大柿再処理・MOX燃料加工安全設計総括
他15名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

四国電力株式会社 原子力部 サイクル技術グループ 副リーダー

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年2月28日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

・ 令和5年3月16日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のタケダです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日のヒアリングは、令和4年の12月、及び、令和5年の2月に申請があった再処理廃棄物間に、MOXの設工認申請について、
0:00:18	進捗について確認を行うものです。
0:00:22	規制庁側の出席者ですが、本庁側からは、タカナシシミズタケダ、ウェブから5冊を下フジワラセトガワ。
0:00:33	キシノ。
0:00:34	オオハシカミデ。
0:00:36	以上になります。
0:00:38	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と各担当の役割、そして本日のヒアリングでの達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:51	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:00:54	権限の出席者紹介いたします。
0:00:58	まず、
0:00:59	事務局ですが、再処理より、サトウ、
0:01:03	タカハシ、セガワ、ナカハマ、
0:01:06	奥須川からタニグチイシハラ。
0:01:10	一声関係で本日はエビナ、SA関係で、ホリグチ、
0:01:17	共通で12関係で、シミズ、
0:01:20	耐震関係でミヤモトホシノ。
0:01:24	あと申請書フクイ関係で引き続き参加してございます。以上となります。
0:01:30	それではですね、スケジュール関係につきまして
0:01:35	今後のですね修正方針の方、述べさせていただきたいと思います。
0:01:40	まず石井側からよろしく申し上げます。
0:01:45	はい。日本原燃の蝦名です。溢水なんですけども、昨日、コメントいただいた内容を踏まえて、スケジュールというのを、今月曜日にお出しする予定です。
0:02:00	で、考え方今、ちょうどスケジュールをやっているところなんですけども考え方としましては、まず審査会合を込めていただいた通り審査会合で、1ポツと2-1というのをちゃんと説明するというので、

0:02:15	それが、介護までにどういうふうになるかというのを、というかスケジュールに表していくと、その考え方として、まず、今もうヒアリングさしていただいておりますが、コメント対応方針というのは、一部、
0:02:31	1ポツであったり2-1にちょっと踏み込んだ部分もございますんで、そちらを3月末までに方針として固めた上でですね、00を
0:02:42	提出して、4月の会合までに、そちらの方の中身を進めていきたいというふうに考えてございます。あと、一方で共通12の方はですね、
0:02:55	こちらコメント対応方針の中で、そういった例えば積とかの扱いとかそういうふうな話もございますんで、そういったものを方針として説明した上で、うちもございますんで、そういったものを、
0:03:08	方針戦略法を提出してそちらの方で具体を説明していくというふうなスケジュールで考えてございます。現状、あとですね、コメント対応方針、本日提出予定になってございますが昨日、
0:03:22	のヒアリングでも、浅野平出もお話した通り、本日提出させていただきます。はい。ご説明の方は以上となります。
0:03:32	はい。ありがとうございます。それでは今の説明について規制庁側から確認等あればお願いします。
0:03:39	はい。規制庁清水です。
0:03:42	昨日の
0:03:44	コメントを踏まえて検討されてるってということだったのでスケジュールについてもまた月曜日、
0:03:51	確認できればと思います。
0:03:54	まず確認。はい。
0:03:57	はい。その他規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:04:04	溢水のスケジュールはよろしいでしょうか。
0:04:07	それでは、次は、S A関係のスケジュールでしょうか。説明の方お願いいたします。
0:04:14	はい。日本原燃のホリグチS s - Nスケジュールについて説明いたします。
0:04:18	現在8号取り込みに関して潜航条文と後発隊の条文、
0:04:23	今、社内でレビューを実施しておりますそれでレビューが終わって修正が反映が終わったものから22から順次222324で提出させていただきたいと考えてます。それ22に提出させていただいた分に関しまして、

0:04:38	もしよろしければ 23 日に、ヒアリングで、説明をさせていただけたらと思います。ちょっとまだここスケジュール調整ができてないんですけども 23 日に向け、ヒアリングを一度置かせていただけたらということで、調整させてください。
0:04:55	そして、
0:04:57	当 23 日に説明できなかった 23 提出分 24 日提出分に関しては 27 日の月曜日に、
0:05:05	ヒアリングを K a s e いただいて、8 号の取り込みに関して、全条文といえますか S A に関係するもの、残りの部分を説明させていただけたらと考えております。
0:05:17	1117 に関しましては、
0:05:19	高津観光の今回のコメント配分に関しまして、20 日ベースを目標としております。23 日になるかもしれないですけど目標は 20 日提出で今動いております。
0:05:30	そして 24 日の午前中、午後は S D ヒアリングの予定が入っておりますので午前中に、ヒアリングをさせていただけたらと思っています。午前中に、
0:05:40	ヒアリングで午前中にヒアリング説明の、
0:05:48	そして、翌週 27 の週で、22、提出した乾固をベースとしたものを全条文、この 27 日のどこかで 1 度、
0:05:59	お出ししたいと考えております。
0:06:02	はい。
0:06:03	で、8 号の取り込みが取り込みに関する説明が終わりましたら 29 日以降で、1 段の、
0:06:11	S A の条文って、こんな形ですっていう、ちょっと市全体の説明ができたらなと思ってますのでここはこれからのスケジュールを調整させてください。
0:06:21	性格以上になります。
0:06:24	規制庁の竹田です。
0:06:26	ありがとうございます。それでは S A のスケジュールについて規制庁側から確認をお願いします。
0:06:32	はい。規制庁高橋です。今のご説明についてですけれども、まず 8 号取り込みの方 22 日から順次というふうにおっしゃられたんですが、次、

0:06:42	事象別とか条文別に行った場合に順番とかって何かレビュー次第かとは思いますが何かもう今の段階でこの順番ってのがあれば、説明してください。
0:06:54	はい。日本原燃の堀口です。22に今出せるかなと考えてるのは、蒸発乾固
0:07:01	水素爆発、あと、ちょっと今、レビュー中なんですけど委員会とTBP、あとプール、あとワー通信も出せたらなあと考えています。
0:07:15	はい、じゃあ他条文が2324に、
0:07:18	出す形になると思っています以上です。
0:07:23	はい。規制庁高梨です。それはじゃあその順番でということで書いてありました。それともう1点なんですけど十時17方ですね、こちらは一応20日目標というか、
0:07:34	ことだったんですが、先ほど8号の方は何か社内レビュー中というのは生活だったんでこちらは今ステータスというか状態っていうのはどんな感じなのか。
0:07:41	もう少し補足していただけますでしょうか。
0:07:44	はい。日本原燃の堀口です。コメントの反映と、あと実際に作り込みをしている最中でございます20日に、今、
0:07:53	今日の状況と、京都等今日の状況ですによって強化20日にレビューを出してそのコメント反映をして22に提出できるよう現在動いている最中でございます。以上です。
0:08:05	はい、規制庁タカマツではまた20日ですかね、状態、状況を確認して、提出がどうかということを確認させていただきたいと思います。私からは以上です。
0:08:16	はい。規制庁竹田ですその他、規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:08:23	古作です。今野。
0:08:26	十時17わあ、
0:08:28	作業量があると思うんですけど的ってどんなもんなんですか。
0:08:41	はい。日本原燃の瀬川です。ご心配いただいている通りですね非常に作業量が多くて、

0:08:48	四苦八苦しなからやっているのが実態ではございます。ただでき上がってから、そういった物量あるものですので、でき上がってからまとめてレビューだとちょっと時間かかってしまいますので、
0:09:02	またうちが作業してるものをですね、順次私横から見ながらですね、香田寧花じゃねえかと。
0:09:09	いうのをやりながら、作業を進めているのが実態でございました。以上です。
0:09:16	古作です。それはそうしていただいて、
0:09:21	いいかなと思うんですけど、それであっても結構大変だなと思っていてですね。
0:09:31	営業日でいうと、
0:09:33	よくジツウ申す。
0:09:35	提示をするつもりでっていうか、違う、ごめんなさい、提出が20日でしたっけ22でしたっけ。
0:09:42	今、日本原燃のホリグチ22に行かせるようには頑張ってるどころでした。
0:09:48	古作です。1日2日っていうことなので、
0:09:54	そこはとやかく言うことではないんですけど、
0:09:57	悩みがあるんだったらこの場で言っていたら、
0:10:02	確認を取りながら進めるとかですね。
0:10:05	いうことがあってもいいかなと思いましたがそういう項目食うまでは出てないっていうことでいいんですかね。
0:10:13	はい。日本原電の瀬川です。
0:10:15	まず整理にあたっての悩みっていうの今とりあえずない、前回結構具体的にヒアリングでこう示したらいいんじゃないかというご指摘いただきましたので、
0:10:27	整理にあたってはさほど悩みがあるわけではないんですが、記載プリを拡充していくときに、どこまで書くかなという部分、またそこは、
0:10:38	真木柿木って書き過ぎだと言われての方がいいんだろうなというので、まず書こうかというので進めたところなので、
0:10:47	はい。
0:10:48	そういう意味で作業としての問題があるとは、今は思っておりませんでした。以上です。

0:10:54	はい、蘇武です。今のって結構な問題だと私は思います。
0:11:02	下、確か2何書いてるか意味がわからんていう非常に短い文章、作業されると全部やり直しになると。
0:11:11	いうのは、正しい判断だと思うんですけど、一方で、書き過ぎ感のあるほど変えていくってなると作業量が膨大になって、
0:11:23	まとまらなくなるっていうこともあってですね。
0:11:26	そういったところの相場感も、例えばこんな感じだというのを早め2確認いただいた方がいいかなと思いますので、
0:11:36	必要に応じてではあります、
0:11:40	以上
0:11:42	はい、日本原電の瀬川です。はい、ありがとうございます承知いたしました。
0:11:51	はい。その他、確認等ございますでしょうか。
0:11:56	規制庁、清水です。
0:11:58	ちょっとあの会合関係で確認したいんですけども、あと昨日申請者の動きの件とかをヒアリングでしてその後海越。
0:12:08	確かスケジュール上は介護資料一式を来週の月曜日に出すって示されてたけどそこら辺どうするかとかは明日の朝日や今日の朝ヒアリングで説明します。
0:12:20	とか言ってたような気もするんですけども、
0:12:23	ちょっと申請者発起の検討等外部最終、外部事象関係は、
0:12:29	どういう状況なのかとあって、特段今日説明はされないのでしょうか。
0:12:38	はい。日本原燃シミズです先に、外部衝撃の方からですね、ご説明させていただきたいと思います。
0:12:44	15日ヒアリングさせていただきまして、いただいたご指摘踏まえまして本日資料の方をお出ししたいと思ってます。介護資料以外にもですね、
0:12:56	共通12番の整理方針と、
0:13:00	この通常2本体のいろいろ図面であったり整理表だったり、いろいろご指摘いただいている点、極力反映したものの、
0:13:10	一部ちょっと間に合ったところはそのステータスを明記したものを、本日提出させていただきたいと考えております。
0:13:18	あわせて今、SE
0:13:20	共通受重大事故の分類のところですね。

0:13:24	こちらの分類のところも今作業を進めてまして、本日出すことで目標で今作業しているところではございます。
0:13:36	日本原燃の瀬川ですけれども、ちょっとあの会合資料のステータスからちょっとずれちゃって恐縮ですが 12 で、
0:13:45	S A の
0:13:47	分ですね、藤昨日のスケジュールでは本日、
0:13:54	整理方針の示し方っていうものを起こす、ご提示するというので、スケジュール組んでおったんですが、昨日来ですね、イシハラセ、私セガワでその案をですね、
0:14:08	確認レビューをしたんですが、ちょっと方向性がずれてるとというのがちょっと明らかになりまして、
0:14:16	今、進めているその竜巻の流れ、そういったものに S A をきっちり載せていくと。
0:14:23	同じような流れで野瀬能勢でいかなきゃいかんだろうというので、ちょっと整理の方向性、軌道修正もちょっと欠けているところです。
0:14:33	本日ご提示するというふうに寄ってくると思ったんですけども、ちょっと資料として出せるような状況にないので、これをちょっと 20 日の提出にちょっと先送りをさせていただければなと思っておりました。
0:14:47	どんなやり方しようとしてたかといったところのちょっと概観だけ、口頭でご説明いたしますと、
0:14:54	S A の場合は、全 S A 条文すべからくというか、共通的にですね。
0:15:02	常設なのか可搬なのか、屋外に設置してるものなのか屋内にあるものなのか、そういった区分で、区分で大きく四つぐらいに区分が分かれるというふうに考えております。
0:15:15	その区分に当てはまる S A 設備を構造の類似性で、
0:15:21	一旦一次集約し、その集約したものに対して、機能要求という観点でさらに細分化する必要がないのか。
0:15:31	そういうアプローチで、構造類型で整理してはどうかというようなことで機能周軌道修正かけていたところではございました。それに沿った形で、補方針説明を 20 日できるように準備したいと思っております。
0:15:45	はい。
0:15:46	というのが、共通 12 のちょっとステータスでございまして、先ほど清水さんから問い合わせのあった会合資料の部分になりますが、

0:15:56	20日に、今日午後やる地盤の話も含めてですね、20日にですね、意識、
0:16:04	会合資料としてまとめてですね、改めて、改めて提出したいというふうには考えてございます。申請書、不備の部分につきましては、昨日ちょっと、
0:16:15	思いというわけではなくて私どもの理解が不足していて、しっかり
0:16:24	更新をかけたバージョン、ほとんどその前、先週のヒアリングからの状態が変わってない、資料であったといったところもありますので、
0:16:32	そこについてはちょっと今サトウの方からご説明いたします。
0:16:40	日本原燃の佐藤です。
0:16:42	昨日のヒアリングでですねコメントいただきました原燃はもう末端な細かな話ばかりに専念して大事なことを押さえていないというご指摘いただきました。そのあと関係者でお話をしまして、そその通りだなというに思ってます。
0:16:55	今回の事例で言いますと、チェックする時間がなかったであるとか、その正解というルール、これがないまま走ってしまってた。で、それを防ごうといったところ辺りにちょっと普及を宇井が行き過ぎて、なぜならそこから先のなぜならがしっかりできてなかったと。
0:17:10	やっぱりそもそもは、計画のなさといったところが大きいのかなというふうには感じております。
0:17:15	いついつ申請するっていう、これをですね我々計画だと思ってしまっていて、あくまでもこれは目標であって、その目標を達成するためにですね、具体的な業務プロセスであるとか、ホールドポイント、
0:17:28	この辺りをきちんと設定していなかったというその計画のなさがやっぱり一番大きな問題かなということで、今改めて検討し直してます。方向性はそういった方向性でやっております、昨日小阪さんの方からも、
0:17:41	経営者さんはもうそんなのわかったからということで、1時間という話もありましたが、我々正直そこまでこの2年間全然検討できていなかった。で、1時間というわけにはいきませんが、来週の月曜日の資料ケースには何とか間に合わせて、
0:17:55	よく水曜日のヒアリングには説明しっかりしたいと、いうふうなことで今臨んでおります。以上でございます。

0:18:06	コサクです。
0:18:08	確かに、私なら1時間ですけど、これまで2年間さんざん言い続けてきたことなので、それを再確認し集約するには原燃だと時間がかかるんだろうなど。
0:18:21	いうことは理解を
0:18:23	します。
0:18:25	ます。
0:18:26	吸ってできるぐらいだったら実行もできているはずなので、
0:18:31	20日提出ということでまとめられるということですからできてから見ていきたい。
0:18:40	D、外部衝撃の方も、
0:18:45	大分コメントをしましたので
0:18:49	しっかりと整理をして出していただければと。
0:18:52	いうところです。
0:18:54	共通12の重大事故関係については、作業方針先ほど瀬川さん言われたところは理解ができます。
0:19:08	最後に言われた。
0:19:10	機能によって分ける必要がというところは、
0:19:15	どこまで必要なのかなというところがちょっとわからない。
0:19:19	椅子、資料出てきてから、
0:19:23	お話できればとは思いますが、あまり
0:19:26	やりすぎなくてもいいのかなというふうな感覚でいてですね、竜巻の方でいっても、ドンピシャじゃなくても、
0:19:36	その累計の中のバリエーションということで見ていける範囲っていうのも、多少話をしているところで、
0:19:44	飛来物防護5番については、5番ということでは同じだけど、分けた方がいいんじゃないっていう話もしてますけど、
0:19:52	それも日、
0:19:56	別紙2でしたかね。
0:19:58	のところでどういう説明ぶりになるかと。
0:20:02	いうわけ
0:20:03	が、まとめて説明できるか。
0:20:05	というようなことでの議論だったと思うので、

0:20:08	重大事故のにおいてはどうかというようなことを見てもらえればと思っています。
0:20:16	瀬川さん。
0:20:18	そういう意味だと、どんなフェーズになってる。
0:20:21	ですか。
0:20:23	はい。日本原燃の瀬川です。今、
0:20:26	古作さんが想像された通りですね。
0:20:31	一応機能という観点を入れてはいるんですけども、実態としてこれ機能でバラかることななさそうだよねというところは、雰囲気として使っていました。
0:20:43	あとは今あの竜巻で整理している、別紙2の流れ、あそこにキャンプSAも載せたときに、綺麗に収まってくよねという、そういった
0:20:54	SA固有の流し方みたいなふうにはしたくないので、今のやり方にきちんと乗るよねといったところも押さえながらですね、ちょっと
0:21:02	整理の方向性ならしかけてたところでした。以上です。
0:21:09	はい、尾崎です。前から言ってます通り、重大事故については十時17がその入口になっているということだと思っておりますので、
0:21:21	その清梨衣から来るんだということを意識して作業していればおのずと、
0:21:29	解は見つかるんだろうと思ってるんですけど、
0:21:33	資料提示を見てそうなってるかどうかというのを確認していければと思っております。よろしくお願ひします。
0:21:42	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
0:21:49	はい。その他、規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:21:56	予想規制庁か未定ですけど、今日耐震の話が特になかったですけど、地盤はヒアリングしますけどそれ以外の進め方って今、
0:22:08	違う。
0:22:17	はい。日本原燃星野です。機器関係の方になりますけども、昨日いただいたコメントですね。
0:22:26	神野さんがヨンギョウでというふうにおっしゃっていただいていたのはその前のあさっ冷やの方でも、上出さんがそういうふうに言われてるのを確認しておりました

0:22:37	そのあとの会話で4項目に分けるとということだけにちょっと意識がいつてしまうすいません。規制庁上出です。そうではなくて、すす中身の中身というか進め方。
0:22:49	どういうふうに話をしていくかって、
0:23:01	日本原電の宮本です。今ですね、耐震建物01だったり、
0:23:07	地震00の計算書をですね、まず提出さしてもらって、そこからヒアリングを、
0:23:14	実施していくっていうところでちょっと提出時期も含めてですね、事前建物、土木、
0:23:20	といったところをちょっとどの辺にしようかってところを、スケジュールを仕込んでるところでございます。
0:23:28	はい。規制庁上出です。わかりました。昨日の、
0:23:32	朝のヒアリングでは、まずはその地震、
0:23:37	耐震建物01をちょっとまずきっかけの資料としてしっかり整理をしたいと。それを早く出し、出しますかっていうとそちらはまずは中身のか。
0:23:50	構成の確認というかその目次レベルで、こういうことを書いていきますということにしか合わせた上で作業スタートしたいと。
0:23:58	という話を昨日されてましたけど、その話はもう完全にコアさんになって資料作るときますから、
0:24:05	お楽しみにみたいな、ということですか。
0:24:09	日本原燃石原です。
0:24:12	すいませんいろんな人がいろんなことを言う。
0:24:15	えっと昨日のお話をしたことは別に変わってませんで、衛藤からちょっと若干私がすいません昨日全然時間がなくて今日その話を関係者で見積もりでした。
0:24:25	それを踏まえた上でこういうふうに構成していく体制立てモデルを市でこういうことをキャッチアップしていくんだという、
0:24:33	大枠の考え方というか整理方針みたいなものを、早めに出してですね、ヒアリングを設定させていただこうと思ってます。それを、すいません今の時点で、スケジュールに落とせる。
0:24:45	でないんですけど、早々にそれに対応させていただきたいと思ってました。以上です。

0:24:52	規制庁神です。プロセスとしては、まず当たって耐震建物 01 の構成をまず認識合わせをしましょうで、
0:25:02	01 を直 01 だけ出てくるのか、もしくは、その記念だったり建物の変更点の一緒にも一緒に出てくるか、01 が先行するか。
0:25:15	一緒に出てくるかぐらいのステップだと思ってるんですけどそこは認識合ってますよね。はい。二本木石田でございます。はい。認識は、ちょっと今考えてましたが
0:25:25	0 一井の役割を決めてそこ 2 株れるものをかぶせているということと、他の法則との関係ってのもちゃんと示さないと駄目だと思うので、変更点と一緒に出せればなと思ってたところでした。はい。
0:25:39	はい。規制庁神です。その上で取っ掛かりの 01 のその構成の確認みたいなところは、今、別途ヒアリングでと言われましたけど、
0:25:50	浅香井手ペラッと資料出してもらってそこで話をすればいいぐらいだと思ってるんです。で、
0:25:57	私の予想では今日の浅香井出、水曜日にまた紹介しますぐらいの話になるのかなと思ってたんですけど、水曜日にはまだで、
0:26:09	って感じですか。今日これから話をするってことだから、早くなれば水曜日話ができるけど、そういう状況によってはもう少しって感じとおきますけど、大丈夫ですかね。
0:26:22	はい。日本イシハラでございます。はい。すいませんでした。時間が若干、私も想像より久米
0:26:30	水曜日には話ができるように、スタンバイ決定したいと。
0:26:35	はい。よろしくお願いします。
0:26:37	はい。規制庁カミデですカレンダー的に、うかうかしていたすぐ再来週とかになっちゃうんで簡単なものはさっと整理して進められればと。
0:26:48	私の方から以上です。
0:26:51	古作です。先ほど説明をされた、
0:26:56	何でちゃんとキャッチアップできなかったのかーってということについては改めて、文字起こしを確認を、
0:27:06	水、
0:27:09	発言は、
0:27:11	間違いないような形でされてはいたんだけど、
0:27:15	広井そびれましたというだけなので、今後拾いそびれないように、

0:27:20	しっかりと拾ってテイクノートして、
0:27:24	漏れなく対応していきますっていうことでいいんでしょうか。
0:27:30	はい。日本原燃越野です。はい、そのように発言したかったところでした。
0:27:39	はい。コサクですよろしくお願いします。
0:27:42	これまでもですね本件に、本件はすごいわかりやすかったからあれですけど、
0:27:48	言ったのになあっていうのの対応が違うっていうことが多かったので、 こうやって、一井確認をしていってるところと、
0:27:58	ということなんですけど。
0:27:59	文字起こしでやってますから、もうこんなことやらずともうキャッチアップできるはずなんですよ。
0:28:08	それがいまだにうまくコミュニケーションできないなというところがあって、
0:28:14	今回の話を基にですね
0:28:20	その場での振り返りで何となく決着ついたみたいに思わずに、
0:28:24	しっかりと振り返りをして、
0:28:30	少し疑問が残ったところは、
0:28:34	見返してですね、文字起こしを見返して、
0:28:40	勘違いしてる可能性みたいなところは、拾い上げて、必要に応じて再確認をすると。
0:28:47	いうプロセスをしっかりと作ることに對して、ところがプロセスだと思 ってます。よろしくお願いします。
0:28:57	はい、日本石田でございますはい。全体通して、いえることだと思いま すので、そういう形で進めさせていただくようにします。
0:29:12	規制庁竹田ですその他、何か確認等はございますでしょうか。
0:29:19	よろしいでしょうか。原燃の方は何か本日は阪井で説明する内容は他に ございますでしょうか。
0:29:30	はい。大嶺事務局中浜です。はい。本日も確認いただきたかった。
0:29:36	項目につきましては以上となります。
0:29:38	はい、わかりました。それでは最後に振り返りをお願いします。
0:29:51	はい。日本原燃の瀬川です。
0:29:53	まずいっすいいですけども、月曜日に、今後の

0:29:58	4月会合に向けての戦略をしっかりと聞いていただけるように、スケジュール準備いたします。
0:30:04	S Aの方ですけれども、十時17の作業量多いよねというふうにちょっと慮っていただきましたが、悩みあればですね
0:30:15	その都度、ご相談をさせていただくということで対応したいと思います。共通12の方は、特にS Aの部分については、十時17からの繋がりしっかりと意識して組み立てるよというご指摘いただきましたので、
0:30:32	変な方向に行かないように、しっかりとしながら作っていきたいと思います月曜日に説明できるように準備いたします。
0:30:41	あと申請書不備につきましては
0:30:44	ちょっと全然進捗がなかったところではございますけれども、20日、しっかりと、他の間、項目と、
0:30:54	あわせて会合資料を提出できるように、整理進めて参ります。
0:30:59	あと耐震につきましては水曜日に建物0一井の認識合わせするための構成確認、そういったところもしっかり説明できるようにですね、水曜日にお話ができるように、準備整えたいと思います。
0:31:14	はい。
0:31:16	振り返り。以上です。
0:31:19	規制庁竹田です。ありがとうございます。今の説明について、確認あればお願いします。
0:31:29	特にないでしょうか。
0:31:31	全体を通じて何か規制庁側からございますでしょうか。
0:31:39	はい。それでは下の方から何か最後ございますでしょうか。
0:31:44	はい。日本原燃事務局中浜です。はいこちらからは特にございません。ありがとうございました。
0:31:50	はい。規制庁武田です。それでは本日のアサカイにつきましては以上とさせていただきます。
0:31:57	お疲れ様でした。
0:32:00	ありがとうございました。
0:00:00	規制庁のタケダです。
0:00:02	それでは、午前のヒアリング続きまして午後のヒアリングを開始いたします。
0:00:09	午後のヒアリングも、

0:00:12	令和4年の12月に申請があったせ、設工認と、令和5年の2月に先生があった設工認について、これまでの資料を基に事実確認を行うものになります。
0:00:24	規制庁側の出席者ですが本庁側からは、キシノタケダ。
0:00:29	出席しております。
0:00:31	ウェブからの参加がコサクハバサキ。
0:00:36	カミデ。
0:00:37	以上になります。
0:00:39	それでは日本原燃の方から、出席者の紹介と、各担当の役割について説明をいただき、本日の資料の構成と、
0:00:49	説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:55	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:58	日本原燃側の出席者紹介いたします。まず事務局より、サトウ。
0:01:04	タカハシ。
0:01:06	イシハラセガワ。
0:01:08	ナカハマ。
0:01:10	あと、
0:01:11	総括で、オオガキ地盤関係取りまとめでマツモト、資料の説明者といたしまして、ヒロタニトガシオガセ。
0:01:22	あと東電設計様より、宇野様。以上参加者となります。
0:01:27	本日まで確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:30	先ほどご提出差し上げましたですね。
0:01:33	耐震建物08、及び審査会合資料地盤関係ということになります。
0:01:40	それでは説明の方は1させていただきます。
0:01:46	はい。日本原燃富樫でございます。まず初めに本日急遽ですねヒアリング直前にですね資料の差し替えの方、承知しまして大変申し訳ございませんでした。
0:01:57	こちらの方の資料といたしましては確認の方進めていたところでございますけれども、ヒアリングの段階におき、前の段階におきまして社内で確認した状況のところではやはり表層地盤の物性値のところ、
0:02:10	ちょっと本来提示しない予定だったものがちょっと提示したし、資料が出てきていたところというところがございまして、資料の方を急遽差し

	替えという形の方で対応させていただきました。こちらは大変申し訳ございませんでした。
0:02:26	本日といたしましては資料といたしまして介護関係の資料といたしまして設工認申請の対応状況といったところで一番状況の方をまとめて資料ございますのでこちらの方が1点と、それに関わります補足説明資料といたしまして、
0:02:41	耐震建物08の部分の一文でございますがその部分の提出をさせていただいてございますのでこちらの方の事実確認の方を進めさせていただきたいというふうに思っているところでございます。
0:02:53	まず初めといたしまして介護資料関係の方の資料の方からですね、説明の方させていただきましてこちらの方の事実確認の方を進めさせていただきたいというふうに考えておりますがよろしいでしょうか。
0:03:08	はい。規制庁武田です。よろしくお願いいたします。
0:03:12	はい。それでは資料といたしまして
0:03:16	設工認申請の対応状況についてといったところになってございます。表紙めくっていただきまして2ページ目でございますけどもこちらの方が全体の概要になってございましてそちらの方の
0:03:26	議題1といったところで耐震条文関係の進捗状況の説明という形になってございます。
0:03:33	具体的な中身といたしましては4ページ目の方からになってございましてこちらの方といたしましては、これまで野瀬現状の各耐震関係の製作状況の説明という形になってございまして、
0:03:45	次回の会合といたしましては1ポツの部分の特に基準地震動に基づく実施入力振動の策定に関しての状況説明という形の方で、緑枠の中身の1ポツの中身を説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:04:00	具体的な地盤モデルの状況につきましては6ページ目になってございます。
0:04:07	今回の会合といたしましては2月21日の審査会合の方で、コメントの方でいただいております、直下地盤モデルと平均地盤モデルの差異について、それぞれの因子といったところがどの程度影響していくのかといったところの検証を踏まえまして、
0:04:25	現状の経過報告という形になって参りますけども、現状進めております。こちらの方の因子分、因子に対しての感度解析状況といたしまし

	て、現在進めております、4グループの方の状況の報告という形の方で、資料の方をまとめさせていただいております。
0:04:44	こちらの方の影響因子の中身といたしまして現状、設定しているものとしていたしましては岩盤部分の地盤物性が、応答に与える影響、また、岩盤部分の非線形性の影響こちらの方が
0:04:59	応答に与える影響と、あとは岩盤部分の減衰定数の設定の因子の影響度合い、あとは表層地盤部分の物性値が、すいませんコサクです。
0:05:10	はい。
0:05:11	説明の意味ありますか。
0:05:18	はい。
0:05:19	記載したところはわかるので、はい。
0:05:22	記載していないことで何かいい。
0:05:25	言っておきたいことと違っていうのを言うんじゃないですかね。
0:05:30	はい。申し上げませんでした。はい。
0:05:32	そういった意味でいきますと、基本的にこちらとし、現状といたしましては状況報告という形になって参りますので、今回こちらの方の状況の分析結果を、
0:05:43	踏まえまして今後、各因子に対しての深掘り検討の方を進めていながら、次回会合の中でですね、全体像の方、影響結果といったところを全体像をですね示していくような形の方で考えているというところがございます。説明は以上でございます
0:06:01	はい。
0:06:02	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:06:05	それでは、この後の説明につきまして規制庁側から加来によればお願いします。
0:06:13	岡見です。
0:06:16	6ページのところで、一番最初に指摘事項ってありますけど、
0:06:23	要は、今回、次回会合への宿題という意味では、我々の指摘、
0:06:33	だけじゃなくて、原燃として、次はこういうふうに検討しますから、説明しますと言っていたこともあると思うんですけど、前回会合のとき、 原燃
0:06:44	次どうするって言ってましたっけ。
0:06:56	はい。日本原燃の富樫でございます。前回の会合といたしましては、

0:07:04	7 ページ目の方に記しております。説明の方針といったところの中身に 対しまして直下地盤、
0:07:14	に対して、こういった関係のところをですね平均地盤モデルと直下地盤 モデルの対応関係の方を整理を進めるとともに、グループごとに、こち らの方の検討の方を進めていくといったところを、
0:07:27	前回会合の方ではお話したというふうに認識してございます。
0:07:33	はい、規制庁間ベースなので、6 ページの最初にはそういうことも含め て書いてあるん入っておかないとその繋がりがよくわからないと思うん です。原燃としては、
0:07:48	ショッカー、7 ページの説明方針ですよね。に、
0:07:54	説明していくと、その時にはコメントを受けたみたいに一つ一つの影響 因子の影響度合いがわかるようになっていくことでそこは何かまとめて最 初に書いていただくんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
0:08:10	はい。日本原燃土橋でございます。小宮さんのご趣旨の通りかと思いま すのでこちらの方で、これまでの設置、説明していく方針といったとこ ろを述べた上で、こういった部分での
0:08:22	分析、評価制度が必要になってきているといったところを踏まえて今 回、現状報告になりますけども、こういった観点で進めているといった ところをちょっとご報告するような形の方で1 ページ目の方にまとめさ せていただきたいというふうに思います。
0:08:38	はい。室長カミデです。次に、四角で言うと三つ目ですけど上記指摘事 項に対するっていうので四つ矢羽根があって、
0:08:50	こんなことをやっていきますっていうこととさらにもう結論までそこに 書いてあってと。
0:08:56	いうことなんですけど、
0:09:00	7 ページもおんなじようなこと書いてあって、
0:09:05	そもそも7 ページ目っているのかなって思ってるんですけど、事業者 は、どういうその説明の仕方というか、考え、
0:09:15	何ですかね。
0:09:18	はい。日本原燃土橋でございますこちらの資料の方作成している時には 6 ページ目の方で今回の全体像といったところをお示した上でです ね、ちょっとこの部分の指摘事項の、今、

0:09:31	亀井さんの教え方、し真ん中部分については、ちょっと詳細めに、7ページ目以降にですねちょっとまとめさせていただいたといったところでございます。
0:09:47	ですので基本的にはちょっと7ページ目以降のところはある意味、
0:09:53	最初のところの詳細版という位置付けのところになって参りますので、指標的なところは、特段この7ページ目というのは不要かなというふうに思っております。
0:10:02	また少し結果、
0:10:06	が何か直接読めるようなところというのご指摘のところはちょっと我々としても基本的にはこちら、今現状報告という認識でございますので、逆にこういうふうに記載することによってこれが決める時間のようによつと、
0:10:18	思われると少し我々の方としても、意図が伝わってないところもございまして、ちょっとこの部分は経過的なところとしてこういうような傾向が少し見えているといったような、
0:10:28	ところがわかるような形の方で、ちょっと皆をさしていただきたいなというふうに思います。
0:10:36	規制庁カミデです。ちょっと見直しのイメージっていうのがよくわからないんですけど、6ページ目には、どんなことまで書いて、その次のページに、どんなのか、ぎその次はみたいな感じでちょっと、
0:10:51	概略説明できます。
0:10:55	はい。4年トガシでございます。まず、6ページ目の方でございますけれども、こちらの方は先ほどの冒頭のあった部分での、前回の、
0:11:05	説明する内容を踏まえて、今回、こういうような検討をやってきましたというようにところのあらましのほうを記載させていただきたいというふうに思います。その上で今7ページ目以降についている部分の、
0:11:19	結果がございまして、それに対して、
0:11:26	ある意味8ページ目以降の結果のところですね、ある意味、現状としてこういうような傾向になっているといったところを、こちらの方の結果の図の下のところにですねこういうような、今、
0:11:38	例えば8ページ目でいきますと、平均と

0:11:43	直下といったところは概ねどうのこの部分は傾向を示している、というようなところを少し付記したものをですね、8ページ目9ページ目10ページ目11ページ目の結果のところですねちょっと
0:11:56	傾向を少し、記載させていただくというようなところで対応したいというふうに思っています。最後のところに今後の進め方といったところの最後の
0:12:07	四角ポツのところをちょっと、
0:12:11	これが最初のページにちょっと入れればちょっと入れさしていただいたような形の方で少し対応の方図りたいというふうに思い
0:12:20	を規制庁カミデです。
0:12:23	だから6ページ目のイメージは大体よくて、
0:12:27	概要故郷今回こんな話をしますと、
0:12:32	とんね、ええや、四つの矢羽根ぐらいを出してくるんすかねこういうパラメーターを、要はその、それぞれどの因子のって言うてることに対してこういう因子について、
0:12:42	検討してきましたっていうので
0:12:45	あると。
0:12:46	次のページにはもう結果というかグラフがあって、検討状況みたいな形で、説明化されて、その最後のページに今後の対応が出てくるのかなと思ったんですけど、今後の対応は最初にまた書きたいみたいな、
0:13:03	話をされてよくわかんなかったんですけど、今後の対応さ、最後でよくないですか。
0:13:09	はい。読み飛ばしです。
0:13:12	もし流れとしては、ちょっとページ数が多くなるかなと思いますちょっと今、まとめるのであればというところで、冒頭の方にお話させていただいたんですけども基本的には後ろの方で流れるような形の方が、神谷さんのおっしゃる通りで、
0:13:24	綺麗かなというふうに思います。
0:13:29	はい。規制庁菅です。
0:13:34	ちょっとここまで、この後ちょっと実際グラフの方で、
0:13:39	こう思ってたんでここまでのところで規制庁側で何かあればお願いします。

0:13:50	はい、規制庁ハバサキですじゃちょっと6ページで、ちょっと細かい話 かもしれませんけれども
0:13:57	自主的事項に対する本日の説明事項のところ、幾つかのパラメーター の話が、矢羽根であって、岩盤部分の地盤物性の設定ってあるんですけ ども、
0:14:08	ちょっとこれ具体的に、地盤物性っていうのは、いわゆるA gところと か、パーセントがあるんですがその話。
0:14:16	だけなんですかそれとも、層厚だとか、層序といますかそういったも のも含めて地盤没水言ってるんですか。そこら辺ちょっと正確に説明し てください。
0:14:27	はい。日本原燃富樫でございます。基本的にハバサキさんのおっしゃら れているところの、基本的には
0:14:35	V S V P、ガンバ含めたところプラス、あと層序っていったところも含 めてになってございます。
0:14:44	はい。規制庁浜崎です。
0:14:47	そこら辺これからですねだんだんと、厳密な表現といますか厳密な検 討になってくるわけなんで、正確な表記の方をしてもらいたいと思いま す。よろしいですか。
0:15:00	はい、日本列島はしてございます。こちらの地盤物性の中に何が入って るのかっていうのを注記させていただきます。
0:15:08	はい規制庁ハバサキちょっとじゃあ6ページまでの区切りという意味で は、私から以上になります。
0:15:20	藤規制庁カミデです。他なさそうであれば、ちょっと後ろの方ですけ ど、私は1点ぐらいですが、10ページ目に、
0:15:30	柳今、三本グラフがあって
0:15:35	5%減衰の位置付けがどうにもよくわからなくてですね。
0:15:42	一応、前回のヒアリングでも話を、
0:15:47	聞いて、それでもななんているのかなと思っているところなんですけ ど、改めてその会合資料にこの5%載せることの、
0:15:56	意味なり、事業者としてこういうことが説明したいから、こういう資料 になっていますと、いうようなところを説明いただけますか。
0:16:07	はい、日本井藤橋でございます。こちらの方は前回のヒアリング際に少 し説明して重複するかというふうに思いますけども、基本的に今回はパ

	ラメーターの因子の設定といったところでどの程度、こういった部分の応答が寄与しているのか感度が寄与しているのかといったところのパラメータスタディといったところがございましたので、
0:16:27	まず振らせていただいているといったところが1点ございます。またそのジャンルの中でもやっぱり3%から5%といったところで、やはり当然、ここでの利益減衰を含めて逸散減衰の状況といったところは、サイトごとで多少違うといったところもございますので、
0:16:44	その中で上限と下限といった段階においてどの程度このばらつきがあるのかっていったところでもですね見ておくっていうのが一つあるのかなといったところがございまして、ですので弱で示されている部分の3から5といったところの所、下限値と上限値、
0:16:59	と、あとは、履歴減衰相当のものを比較してみたといったところが、当社の方の今の設定の趣旨でございます。今後ちょっと我々の方で進めたいと思ってるところがやはり齋藤単位ですね。
0:17:11	の、地盤の特性といったところもございましてこちらの方観測記録等をですね、交えたところで、この岩盤の減衰については少し我々の方として深掘り検討を実施していきたいというところもございましたので、
0:17:23	一般的に言われている弱の上限値と下限値のところを、今回は因子として振らせていただいたといったところが事業者の考えでございます。
0:17:33	あと、規制庁カミデです。前聞いた通りなんですが、
0:17:39	バーがない、%のラインがないとですね、事業者としてどんな
0:17:46	不都合があるのか、この検討の過程なり、検討した結果に対して、
0:17:54	5%での値も見えておかないとこういうことができたっていう形で、もうちょっとわかりやすく説明できないですかね。
0:18:10	はい与儀内藤氏でございます。
0:18:13	やはり5%を記しておくことによって、ある程度この3%下限でやっているものっていったところですねある、ある意味、パートさんをこちらの方で示させていただいて5%3%を見るとやはり3%といったところを5%に、
0:18:30	比較すると、やはり応答的なものとしまして保守的な応答を示すといったところが見てとれるところもございまして、ちょっとこの部分でのその下限と上限での保守性のバランスといったところをですね、一応示しておきたいといったところもございまして、

0:18:44	こちらの方5%の方も記載の方さしていただいているといったところが趣旨でございます。
0:18:50	はい。規制庁神です。
0:18:53	下、
0:18:54	事業者としては今現状平均モデルが3%を使って申請してますからその妥当性を説明したいと。
0:19:02	いうことは動機としては理解できるんです。
0:19:07	それが5に対して保守的なんだっていう説明が違いますねまず3%っていうのは、しっかり保守的な設計なんですって。
0:19:20	言いたいと。
0:19:21	いうことで、
0:19:23	それに対して、
0:19:26	5%より保守的だからいいんですって、言いたってそういう主張ですか。
0:19:34	それに対して、
0:19:36	はい、茅根土橋でございます。こちらの方待合ズーの中の値5%という上限の値に比べると、当然でございますけど3%といったところはやっぱり、
0:19:50	ある程度保守性を持っているといったところもございますので、本来少しすいませんコサクです。
0:19:58	ちょっと言葉を明石さん使い間違っています。
0:20:03	保守性っていうのは、
0:20:07	正確に現実をあらわしたときに、
0:20:10	それよりも、
0:20:12	評価として厳しい側にある。
0:20:15	いうことを言ってるのであって、
0:20:18	仮想のもの二つに対して保守的云々っていうのは、全然、
0:20:23	言葉として合っていないと思います。
0:20:26	で、私がこれを見て思っていたのは、正しいところがどこかは何も言われてないので、
0:20:33	単純に、
0:20:34	減衰定数、定数っていうのを、この程度振ったら、営業としてはこの程度でますと。

0:20:41	いうことをまず認識をしたと。
0:20:43	いうだけであって、
0:20:45	今後
0:20:47	実際のサイトでの状況がどうかと。
0:20:50	いうところを、
0:20:52	分析していく中で、
0:20:54	戸田編にあるのかと。
0:20:57	ことを踏まえて考えたときに、
0:20:59	その状況を踏まえると、ここ、こういう設定をしておけば保守的ではないかと。
0:21:04	いうことを次に言うというだけなんじゃないんだ。
0:21:12	はい、峰富樫でございます。まず最初のご指摘のその保守性の使い方が間違っているといったところたくさんのご指摘の通りだというふうに思います。で、私どもが言いたいところもですね、今、
0:21:23	小沢さんがおっしゃっていただいた通りの中身でございます。やはりこの今状況で示してるのはそのパラメータの意識といったところがどの程度応答に寄与するのかっていったところ、まず認識したといったところでございますのでそういった意味で、
0:21:35	まずその弱中の5%3%を振らせていただいたといったところが、本日のし、
0:21:43	資料での市長かというふうに思っております。以上でございます。
0:21:48	ハバサキです私の方からもちょっといいですか
0:21:52	6ページ先のところに、当間現時点での考察ということで、文章書いて、岩盤部分の減衰定数の与え方短周期側で感度大体ありますよね。
0:22:03	で、10ページのスペクトル見た時に、
0:22:07	いわゆる5%、先ほど来富樫さんから言ってる5%で切るに書いてますからっていうのは、永山朝大会ますかって言うんですけど、あれ、オールジャパンの話ですよ、オールジャパンの南岸に対して大体第3から5の幅っていうこと言ってるんであって、
0:22:22	その話を今、6ヶ所ではどうなのっていう時に、なんかごっちゃになってる気がするんです。例えばもうすでに直下でやってる方が平均であろうが、

0:22:33	6ヶ所のサイトでは、3とか2っていう数字が、岩盤部分出てるわけなんで、その範囲の中で何で行こうっていう数字が出てくるのかっていうのが我々はわからないという趣旨です。
0:22:43	で、
0:22:44	さらにその10ページのスペクトルを見て現実的に考えられ得る2%と3%のスペクトルの比較を見た場合に、
0:22:53	これ、6ページの結論といいますか分析の結果、この通りになるんですが、2%と3%の比較で、岩種企業で関東大って、そこまで言い切れるんでしょうか。
0:23:12	はい。入念投資でございます。
0:23:15	まず6章、先ほど濱崎さんの冒頭でおっしゃっていただいた部分でのジャグに期待されている数値といったところがルジャパンにおける南岸
0:23:25	の地盤での与えていたところは、私どもそういう認識をしております。また沢崎さんのおっしゃられた部分での六ヶ所サイトにおける
0:23:36	減衰岩盤としての2、源泉といったところで行きますとその材料としての利益件数のみであれば、はい。
0:23:47	あ、
0:23:50	うん。
0:23:53	大丈夫。はい。はい。ですので履歴減衰としての2%といったところになってございますただ当然でございますけども振動のもので考えますと履歴減衰+逸散減衰といったところが
0:24:06	正味なって参りますのでそういったところで行きますと、キシノ2%というものではなくて
0:24:13	振動としての減衰で考えるともう少し大きなものというふうに考えてございますこの部分に関しましては現在地震を東海地震観測記録のですね、部分で分析の方進めまして今後ちょっと示していきたいというふうに考えているところでございます。
0:24:28	また今、6ページ目の冒頭のところに書いております。確かにその影響大と言われる部分に対しては、少し我々少し5%のものをですね意識した記載になっているといったところがございますので、
0:24:40	この部分につきましては、こういう傾向になっているといったところで短周期側においては少し傾向としては、

0:24:51	ある時傾向として少しカードがあるといったところが影響大という少しかなというふうに思っておりますので、
0:24:59	その部分を少し見直させていただきたいというふうに思います。以上です。
0:25:04	はい。規制庁浜崎です。減衰の考え方については今後議論することになると思います。それと先ほどの6ページの考察のところも、先ほど古作調査官が言った話とまさにそうなんですよね。
0:25:15	仮定の5%と比較して何の意味があるんですかということになるわけなんで、正確な記載のほうをお願いしたいと思います。以上です。
0:25:27	はい。米田オオハシでございます。こちらの方正確に記載させていただきます。
0:25:37	規制庁上出です。
0:25:40	結局のところ10ページの、
0:25:42	青の線ですかね5%の線っていうのはこれは資料としては、
0:25:47	残すのか、残さないのかっていうのはどっちなんになったんですか。
0:25:54	はい。日本原燃、土橋でございます。当社としましてはこの5%の線といったところは、感度といったところでどのぐらいの印象を示すのかっていったところはあった方がやはり、
0:26:06	わかりやすいのかなというふうに思っておりますので、残させていただきたいというふうに思っております。
0:26:13	どっ規制庁カミデです。何の感度か。
0:26:18	ていうともうちょっと言葉を足して説明してもらえますか。
0:26:27	はい。米津オオハシでございます。入力地震動に与える短周期側への影響の関東というふうに今、我々としては作られているところでございます。
0:26:40	はい、規制庁神栖入力地震動に対する、
0:26:44	短周期側の感度。
0:26:47	もうちょっと言葉を足すと何ですか。
0:26:50	基盤ですか。
0:26:56	はい。地盤でございます。はい。
0:26:59	はい、規制庁カミデもっと経つと、再処理施設の敷地の地盤の&
0:27:06	の
0:27:06	程度を示すために、このグラフがあると。

0:27:11	いう時に先ほどハバサキからも言いましたけど、2%とか3%トガシさんは何かいろいろほかにも減衰があるんだからと言いましたけど、最初に施設のその地盤の感度を、
0:27:24	の程度感を見るために、木場がいるのかっていうととても、オフアーを見たから、5%というのは全然その再処理施設の
0:27:35	地盤としては大分かけ離れてるんじゃないかなと。それを持ってきて、程度感を再処理施設の程度感を示すっていうのはちょっとミスリードになってるんじゃないかなと私は思いますけど、いかがですか。
0:27:53	はい。峰土橋でございます。今、規制庁さんとのやりとりも踏まえて、今一度ちょっとその5%の記載する。
0:28:03	本当に理由があるのかといったところはいつももう一度少し、社内で一緒に議論させた、さしていただいた上でその可否について、次の資料の方で反映させていただきたいというふうに思います。以上でございます。
0:28:15	コサクです。
0:28:17	ごめんなさい。ちょっとちなみになんですけど、
0:28:20	5%はかけ離れてるっていうのは明日、
0:28:24	3%よりも小さいのにその逆側行ってどうすんのっていう、
0:28:29	だと思えますけど。
0:28:31	それで言うと、1%ってやらないんですか。
0:28:42	はい。日本原燃の土橋でございます。まさしくそういう感度という話を、私が知ってる以上そういう1%って話も多分あるかというふうに思いますのでちょっとこの部分5%という位置付けのところもございまして、少し
0:28:56	感度解析と示しつつ、会合の中で示す上でですね、適切な何か何か、なのかっていったところは、再度ちょっと社内で議論させていただきまして、改めて資料を提示させていただきたいというふうに思います。以上です。
0:29:16	規制庁カミデ様の整理はされるんだと思えますけど一番は市場でさすがにそこまで固くもないでしょうということがあるんだと思えますから。
0:29:26	いずれにしてもその、何のためです。ごめんなさい。それで言うと、一番って単純に、

0:29:34	今の②っていうのを挟むようにやらないと、議論すべき感度の幅として話ができないのかなと思って。
0:29:45	1例として言っただけで別に、
0:29:47	1%をやれと言ってるつもりは全くないので、すみません、誤解をされている。
0:29:57	規制庁鏡です私は誤解してませんし、事業者も大丈夫だとは思いますが、なのでその、だから、何のために、
0:30:08	データを、あるのか、検証しているのかっていうところをしっかりと整理し、整理というか我々に対してちゃんと説明をし、できるように、
0:30:19	事業者の中でしっかり考えてもらってですね、それで、じゃあ何を示せばいいのかというところをしっかりと説明してもらえればと思いますので、よろしくお願いします。
0:30:31	私の方からは以上です。
0:30:36	はい、米澤でございますご趣旨理解しましたので、しっかり検討させていただきます。
0:30:44	その他規制庁側から、この資料について確認はございますでしょうか。
0:30:51	規制庁ハバサキですじゃちょっと
0:30:54	資料の後ろの方いっちゃって申し訳ないですけど、12ページ。
0:31:00	2、事務局3グループの増にクリッピングの
0:31:05	ここでちょっと幾つか事実確認したいんですけども、いいですか加藤、青の黒丸の本核熱赤と青の丸のところで、
0:31:17	それぞれ判例載せが説明されても、
0:31:20	後藤さん、平均地盤モデルの設定においては、青の部分も含んでいるという理解でいいんですよね。
0:31:30	はい。日本原燃土橋でございますちょっと今、回線がちょっと混雑したので、
0:31:36	推測でちょっとお話しいただきますけども、直下地盤モデルとしましては、赤と青含んだ形の方で作成してございます。
0:31:44	規制庁だけです。いや、逆逆逆、青は直下で、赤が平均地盤の場合に、平均のモデルには、青も含んでいますでしょうか。
0:31:57	はい根橋でございます。平均のモデルにつきましては赤のみで作成してございます。

0:32:04	規制庁ハバサキです。だから、平均地盤モデルっていうのは建設時の地盤モデル。
0:32:13	のと全く今、変わらないという理解でまずいんですよね。
0:32:18	はい、峰富樫でございます。ご認識の通りでございます。
0:32:22	清千原田崎です。そうすると、今の富樫さんの話で、建設時に赤で地盤モデルを作りました。そのあとをやりました。でも、
0:32:32	今の平均地盤モデルと言われてるのは、赤だけのデータで作られています。
0:32:37	そういう理解でまずいいですか。
0:32:50	はい。4年トガシでございます。おっしゃる通りです。
0:32:53	はい規制庁山崎です。はい事実確認できました。
0:32:56	それと、
0:32:59	表層地盤とか埋戻し動についても、この12ページと同じようなボーリングの位置の資料はかつて、説明があったんですけども、その説明を追加してもらうことは可能でしょうか。
0:33:13	はい、土橋でございます。辻川さんの方ささせていただきます。
0:33:18	はい。規制庁浜崎です。
0:33:21	今日の時点の事実確認として私の方からは以上です。
0:33:28	規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:33:33	規制庁の岸野です。ちょっと単純な事実確認ですけど、
0:33:37	7ページにちょっと戻っちゃうんですけど表の右下の方にですね、
0:33:41	地震今後地震観測記録等の分析を実施してあるんですが、
0:33:47	到底地震観測記録の分析以外にも何か今、
0:33:52	進めようと思っているものって、
0:33:55	あるんでしょう。
0:33:59	はい。日本原燃のオガセでございます。すいませんちょっと曖昧な書きぶりをして申し訳ございません。今現時点で我々として考察ないし検討を進めているのは、まさに地震観測記録を用いた分析を進めております。ちょっとすいません幅広に書くために等と書いたんですが、
0:34:14	事実関係のみ記載するという必要になったら追加は追加で改めて説明が必要と思いますので、この等は消させていただきます。今7ページ自体のこの表が消えますが6ページに同じような記載が、

0:34:26	ありますのでそこでも同じように当然なんかは使わないような形に修正の方させていただきます。以上です。
0:34:33	規制庁の岸野ですはい。どう消してくださいというつもりで聞いたわけではないんですけども、現時点では、
0:34:40	等々に入る具体的なものはお持ちでないと。ただ、今後も数の分析等を進めていく上で、これ以外にも何か出てくるかもしれないという気持ちがあって頭をつけたということで理解。
0:34:51	しました。どのように直すかってのはお任せしますけども、ちゃんと説明できるようにしておいていただければいいのかなと思います。私からは以上です。
0:35:02	日本原燃尾鷲ですかしこまりました。
0:35:06	規制庁カミデですけど、
0:35:09	何か
0:35:10	予見性のために、どういった方がいいかなという気もしますが、
0:35:14	を外して、観測記録だけでって言った時に、六ヶ所で取れてる地震があって結構このいろいろ補強しなきゃいけないんじゃないかなあと思ってますので、
0:35:28	統計して、ただそれで説明してもう終わるというものではなくてですね、等としてどういうことが考慮できるかっていうことを、自分たちなり、あとは
0:35:41	支援を受けている電力会社とかの人とか、話をした方がいいんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
0:35:50	はい。日本原燃オオハシですかしこまりましたご趣旨踏まえて記載内容について再検討いたします。
0:35:59	はい。規制庁深見です。あと1点だけすいません。
0:36:03	今回
0:36:04	8ページ以降、
0:36:08	すいません、水平方向だけ出てて、鉛直だけ出てない、鉛直はないってことなんですけど鉛直載せなくても、
0:36:20	問題ない。今回の傾向を説明する、現状の傾向を説明するという上ではあと水平だけで代表して説明ができるってということですか。
0:36:34	はい。日本原燃の緒方でございます。今上出さんがご推察された通りでございますして今回その会合資料の絵としてお見せしているのは水平だけ

	でございますけれども、ここから読み取れる傾向と同じ結論が鉛直方向についても見ると、同じような結論に導かれるというところで考えておりますので、
0:36:51	今回この資料では水平方向のみ、お示しをさせていただくことで十分かと考えております。ちなみになんですがもう1冊のほうの今回出してるっていう8の資料ですね、そちらの方にですね、そんなことは知っていて、
0:37:03	一言、会合資料にその旨書いておいてくださいってだけです。
0:37:10	はい。日本原燃のオガセで了解いたしました。
0:37:16	はい。規制庁深見です。以上です。
0:37:20	その学生町側から確認はございますでしょうか。
0:37:26	よろしければ下の方から、この資料について振り返りをお願いします。
0:37:34	はい、土橋でございます。この資料といたしましてはまず6ページ目の方に、前回からの位置付けのところといったところでの、全部を記載させていただいて、それを踏まえて今回こういう分析を実施してます。ここにつなげるような形の方で6ページ目の方は、
0:37:49	修正の方さしていただきます。7ページ目の方といたしましてこちらの方はページとしましては削除させていただきまして、8ページ目以降のところの結果の方を追加させていただいてその部分に今回での、
0:38:01	わかって、現状のこの結果から見えているところの傾向といったところを記載させていただきたいというふうに思っております。
0:38:07	また
0:38:09	一番の減衰の部分に関しましてはこちらの5%の位置付けといったところは社内の方で議論させていただきまして記載するかどうかといったところは決めさせていただいた上で最終のキシノ決をさせていただきたいというふうに思います。
0:38:23	で、
0:38:24	今、12ページ目のところに記載させていただいている、今グループ分けのところのプラスですね後、表層地盤での物性値採取してる部分がございますのでそちらの方の絵のほうを追加させていただきたいというふうに思っております。
0:38:40	こちらの方の資料の改訂につきましては、

0:38:43	月曜日の日に、こちらの方他の資料と合わせた形の方で採決の方さして いただきたいというふうに考えてございます。以上でございます。
0:38:53	規制庁竹田ですありがとうございます。
0:38:56	今の説明で何かコメントがございますでしょうか。
0:39:02	よろしいでしょうか。
0:39:04	それでは次の資料の確認に進みたいと思います。
0:39:09	土地に対しても 08 ですね、こちらについても、現状の方から、ポイント について説明があればお願いします。
0:39:18	はい。4 年通しでございますこちらの方の資料といたしましては先ほど の介護資料の進捗状況のところを少し鉛直とかですねその部分の改正結 果の方を、
0:39:29	追加させていただいているといったところでございますので、特段内容 としましては説明する事項はございません。以上でございます。
0:39:37	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:39:40	それではこの資料について、規制庁側から確認あればお願いします。
0:39:48	規制庁カミデです。
0:39:51	会合資料の時に聞いてもよかったんですけど、
0:39:55	今後どうするかですね、それ 080 と 42 ページが最後の方で四角枠で大 体また今度みたいな感じですけど、
0:40:07	今回
0:40:10	減衰だったり、
0:40:13	あとは 17G 岩盤の物性値なり、一応 4 グループ、
0:40:18	たじゃないですか。で、一応 4 種類検討項目があって、4 グループやり ましたっていう話。
0:40:27	ですって、その上で、今後深掘りも考えますと、言ってますけど、
0:40:34	まずはあれですか、4 項目の感度解析というか影響評価っていうのは、
0:40:42	13 グループまで広げた上で、
0:40:47	その結果、じゃあどこを深掘りしようかということで、かほりもしてい くってそんな考えなんですけど、
0:40:57	井上飛ばしてございます。今神谷さんがおっしゃった通りでございまし て、今 4 グループまででございますけども、この内容に関しましては 13 グループ全体について検討を進めた上で、その中で見えてきたものに対

	して影響が少しありそうなものについて深掘り検討を実施していくといったところで、
0:41:16	ございます。現状見えているものとしまして特に減衰の部分と、表層の部分といったところが上がってきておりますので、それは引き続きですね、
0:41:26	深掘り検討の方を進めていくといったところを考えているところでございます。以上です。
0:41:33	規制庁カミデです。
0:41:36	今、4グループやっただけでも、
0:41:40	感度が大きかろうというものはわかって、
0:41:45	出てきているんで、
0:41:47	それはそれで深掘りを進めるのかなあと思ったんです。ですけど、そこは並行的にとかっていうわけではなくてとにかく深掘りを後に置いておいて、13グループっていう感じなんですか。
0:42:02	はい。谷藤トガシでございます。私の言い方がちょっと悪いと申し上げました基本的には亀井さんおっしゃった通りでございますして並行で今作業の方は進めているといったところでございます。
0:42:13	はい、規制庁上津をかわりました。
0:42:17	ちなみに、今、現状の、
0:42:21	感覚、作業状況とかっていうのはどんな感じなんですかね。
0:42:26	13に広げる話と、深掘りの話なんですけど、今どんな感じなんですか。
0:42:38	はい日本への投資でございます。まず対象の今4グループのところでございますけども、それ以降も少し解析を進めているところでございますので、基本的に3月末から4月上旬のところ基本的にその13グループのところに関しましての、
0:42:53	解析をすべて終了するというふうに考えてございます。
0:42:56	また感度解析のところ現状進めているものとしたしまして先ほどもありました地震観測のものがございますけども、こちらの方も4月上旬ぐらいには、評価結果の方が見えてくるという形になってございますので、
0:43:09	4月上旬にはですね、一緒に週目ぐらいにはこちらの方の状況といったところを再度ご説明しようという形のところで今作業の方を進めているところでございます。以上でございます。

0:43:23	はい。規制庁神です。わかりました。あとは大分、ちょっと先の話になっちゃいましたけど、3月は、取り組み状況の紹介、
0:43:34	4月には、4月の会合では妥当性の考え方がしっかり議論
0:43:42	したいと。
0:43:44	いう感じですか。
0:43:49	はい。日本への投資でございます。
0:43:52	思いとしては、
0:43:54	今神谷さんのおっしゃった通りでございます。はい。以上です。
0:43:59	はい。規制庁神です。わかりました。
0:44:02	そうであればあれですね藤深堀の方が4月に周って言われちゃいましたけどなるべく最初、一瞬ぐらいで、早め早めで、
0:44:12	データを見せてもらって、の方がいいかなと、思いますので、
0:44:18	そちらの計画に沿うように、作業進めてもらえればと思います。私の方から08はもう、
0:44:27	中身的なところは先ほど会合中でやったので、今の話ぐらいです。以上です。
0:44:35	はい。規制庁箱崎です。ですか
0:44:40	0芦田から特についていうわけじゃないんですけども、これさっきの介護資料でも話したように、ことに通じるんですけどまず6ページから、検討内容の説明があって次の7ページに、
0:44:52	先ほど介護資料の最後のページの、
0:44:56	グルーピングの資料があります。
0:44:59	ここの辺りまでが、検討条件の説明になってますのさっき地盤のモデル化の話をしました。
0:45:09	要は平均モデルっていうのは東西中央の赤だけを使っています。それから各グルーピングの直下地盤っていうのは、グルーピングした領域における青と赤を使っています。
0:45:22	そういう、まずそういう理解でいいんですよねそういう理解でよければそういう記載をしてもらいたいんですけどいかがでしょうか。
0:45:28	はい、宮澤でございますまずご認識はその通りでございます。はい。その上で資料といったところに関しましては適切に反映させていただきたいというふうに思います。

0:45:38	はい。規制庁ハバサキです。あとですねこれさっき振り返りのところではなかったというふうに思ったんで、
0:45:46	通しの10ページのところですね。岩盤部分、地盤因子がじゅ、地盤物性になってますけど、さっきの話、物性、
0:45:56	ていう、菅ものではなくて曾田とかいうファクターも入ってるという趣旨の説明してもらえればと思います。よろしいですか。
0:46:05	はい。おめでとうございます。すいません先ほど振り返り、失礼いたしましたこちらの方を適切に反映させていただき、
0:46:14	はい規制庁浜崎鈴蘭氏に関して私は以上です。
0:46:19	相場形状は確認はございますでしょうか。規制庁の岸野です。今のハバサキからのコメントにも関連してなんですけれども、
0:46:27	加来顧問、この資料の中で検討している各ケースというんですかね、モデルの違いがやはり持続しただけではよくわからないところもありますので、
0:46:40	因子といいますか物性何を変えたとかその辺りは今の指摘にもありましたように補足説明資料ですので、きちんと丁寧に書いていただきたいと。
0:46:51	示し方としては、例えば各ケース、
0:46:54	1次元のモデルでやっているでしょうから、
0:46:58	走行性ですとか層境界の、
0:47:01	標高ですとか各層においてどういう物性を入れているんだっていうようなモデル図で示すという手もあるかと思しますので、正確にですね設定した条件、各ケースの、
0:47:11	条件設定とその考え方がわかるような資料に今後していただきたいと思いますが、よろしいですか。
0:47:19	はい。峰トガシでございます。ご趣旨理解いたしましたので次回以降の部分につきましては、資料の拡充といったところに詰めて参りたいというふうに思います。以上です。
0:47:29	はい。お願いします。以上です。
0:47:34	その後、規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:47:40	よろしければ元の方から振り返りをお願いします。

0:47:46	はい。こちらの方の資料に関しましては今後資料の拡充といったところがメインになってくるかというふうに思いますので、本日いただいた内容を踏まえまして、しっかりと資料の拡充の方、
0:47:58	及び深掘り検討といったところを進めていきたいというふうに思いますので、よろしく申し上げます。以上でございます。
0:48:04	はい。ありがとうございます。今の振り返りについてコメントはございますでしょうか。
0:48:13	よろしいでしょうか。
0:48:15	予定していた議題としては以上となります。
0:48:19	全体を通しまして規制庁側から何かございますでしょうか。
0:48:26	見えないんでしょうか、原燃の方から何かございますでしょうか。
0:48:32	はい。日本原燃の中田です。こちらは特にございません。ありがとうございました。
0:48:37	はい。規制庁時任です。江藤。はい。それでは、本日のヒアリングとしては以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
0:48:46	草間です。ありがとうございました。